

Inter BEE 2011

国際放送機器展 International Broadcast Equipment Exhibition 2011
2011年11月16日(水) ~ 18日(金) (3日間)

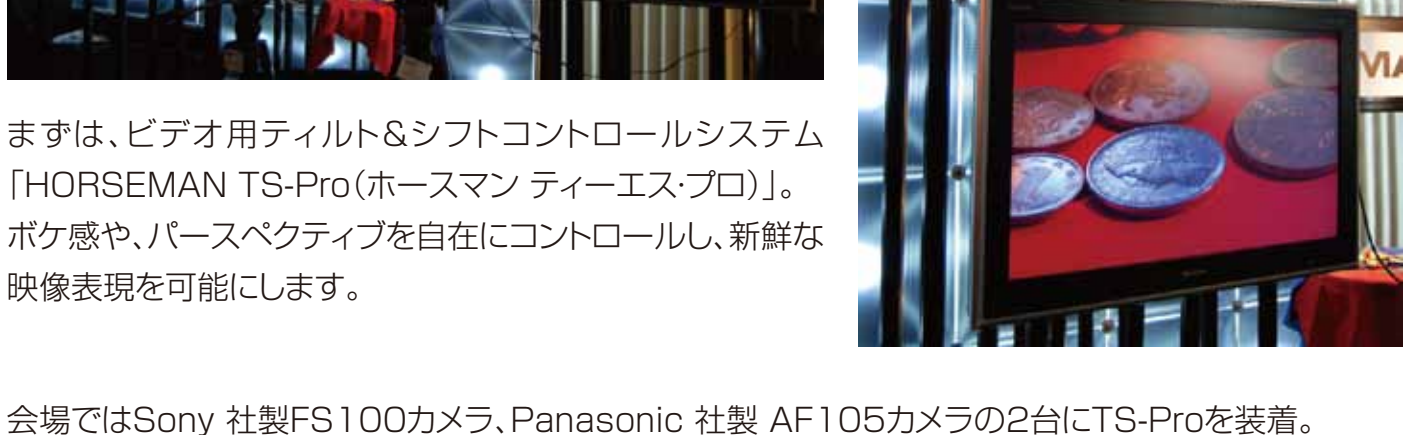
2011年国際放送機器展(Inter BEE 2011)は国内外の最新の放送関係機材を一堂に集めた、音と映像と通信のプロフェッショナル展です。今年の駒村商会ブースには、ドイツのband pro社、アメリカの16x9 inc.社も参加し、昨年よりも1コマ増えて賑やかに!

MILLER社製三脚とGlidecam社製スタビライゼーションシステムは、新製品を展示。他にもAnton Bauer社バッテリーとHORSEMANのティルト&シフトコントロールシステム TS-Proなどなど。

16x9社からはコンビネーションレンズ、シネアームやシネロックといったシネアクセサリー、そしてband pro社からは、話題のデジタルシネマ用Leicaプライムレンズも展示されました。



今回の当社ブースは、映像・放送関連機材部門のBホールに出展。今年もたくさんのお客様にお越しいただきました!



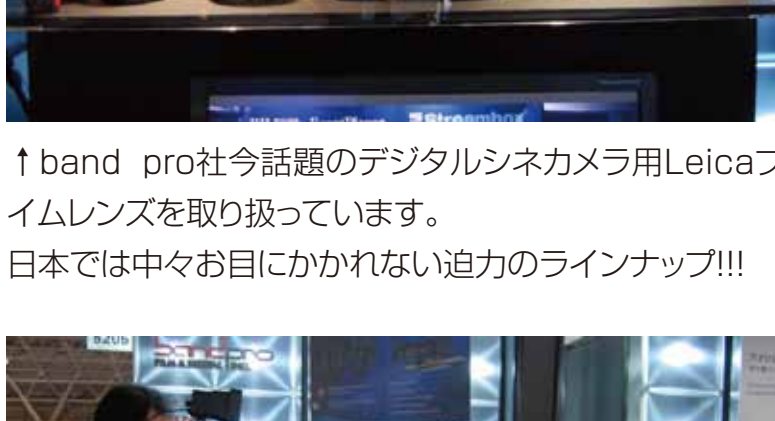
まずは、ビデオ用ティルト&シフトコントロールシステム「HORSEMAN TS-Pro(ホースマン ティーエスプロ)」。ボケ感や、パースペクティブを自在にコントロールし、新鮮な映像表現を可能にします。

会場ではSony 社製FS100カメラ、Panasonic 社製 AF105カメラの2台にTS-Proを装着。実際に映像でアオリの効果を体験していただきました。



InterBEE初出展の、ドイツ band pro社とアメリカの16x9 inc.社。

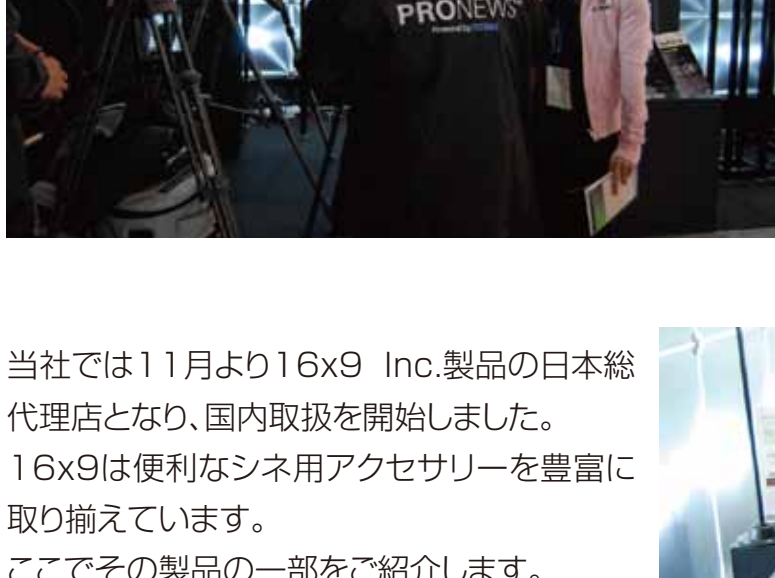
Band Pro Film & Digital社は、プロの映画製作者とビデオアーティストのためのシステム・インテグレーターで、世界各地に支社や現地法人をもち、「Band Proにない映像機材は無い」と言われるほど。16x9inc.社はアメリカを本拠地に、世界各地のシネ用アクセサリーを取り扱う他に自社製品の製作も手がける、ディストリビューター&プロデューサーです。



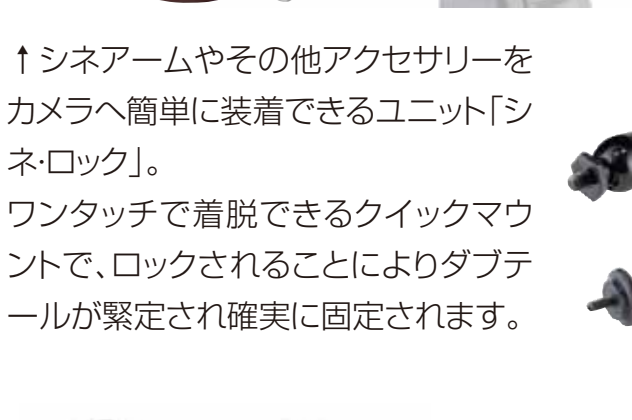
↑ band pro社今話題のデジタルシネマカメラ用Leicaプライムレンズを取り扱っています。日本では中々お目にかかれぬ迫力のラインナップ!!!



←ここでインタビューに応えているのは、band pro社の通訳「アッコさん」こと高宮 暖子さん。今回はband pro社のドイツ人スタッフと当社のスタッフとの間で大活躍!



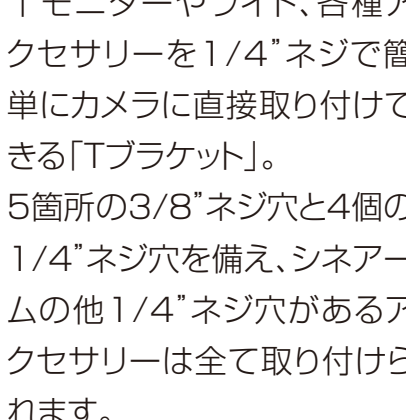
当社は11月より16x9 Inc.製品の日本総代理店となり、国内取扱を開始しました。16x9は便利なシネ用アクセサリーを豊富に取り揃えています。ここでその製品の一部をご紹介します。



↑シネアームやその他アクセサリーをカメラへ簡単に装着できるユニット「シネロック」。ワンタッチで着脱できるクイックマウントで、ロックされることによりアダプターが緊定され確実に固定されます。



↑同じ長さの2本のアームが自由自在な角度でモニターやライトをカメラに取り付けることができる「シネアーム」。ほとんどのカメラに、簡単に取り付けられ、フレキシブルな動きでモニターやライトのポジションを調整することができます。大きさはS-M-Lサイズの3種類を用意。



↑モニターやライト、各種アクセサリーを1/4"ネジで簡単にカメラに直接取り付けできる「Tブラケット」。5箇所分の3/8"ネジ穴と4個の1/4"ネジ穴を備え、シネアームの他1/4"ネジ穴があるアクセサリーは全て取り付けられます。



←1/4"や3/8"マウントのアクセサリーをカムコーダーのホットシューに取り付けられます。



→モニターやライト、各種アクセサリーをカメラのハンドルに取り付けることができる「クランプブラケット」。約100gと軽量なアルミ素材で、シネアームの他1/4"ネジ穴があるアクセサリーは全て取り付けられます。



↑InterBEE会期中に、システムファイブ社のPRO NEWSから取材も! 営業の小坂が、Glidecamサポートベストを着たまま、はりきってご紹介!



世界70カ国以上の放送業界で導入されているオーストラリア製「MILLER」(ミラー)三脚。今年も大型シネカメラ対応の新製品「Skyline」フルードヘッドをはじめ、カメラサポートシステムを展示しました。

→compass(コンパス)シリーズに新たにラインナップされた、新製品の75mmφボウルのcompass12フルードヘッド。構造はそのフレーム・ハンドラットや4段階のカウンターバランスなどの基本構成はそのまま、ナビドレイトのコントロールレンジを3段階に簡略化することで高いコストパフォーマンスを実現したエントリーモデルです。



↑さらに日本に到着したばかりの新製品、Skylineフルードヘッド。大型シネカメラ対応の150mmφボウルフルードヘッドです。来春発売予定!



↑やはり注目されたのは新製品のSkyline。今回は150mmφとあって、映画プロダクションの方からも注目されました!

↑MILLER三脚の上に見えるのが…。実はコレ、NKL社製の新型アインレタ。なんとリアモーターカーと同様に磁力を使った防振システムなんです。

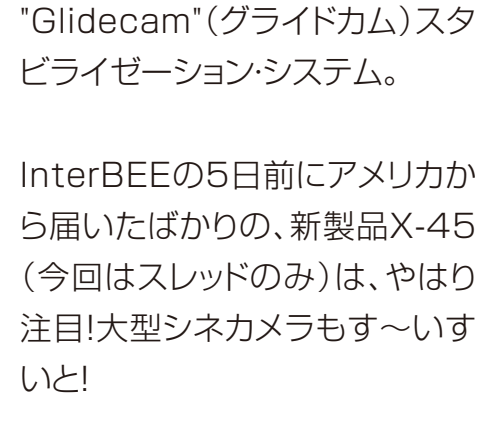
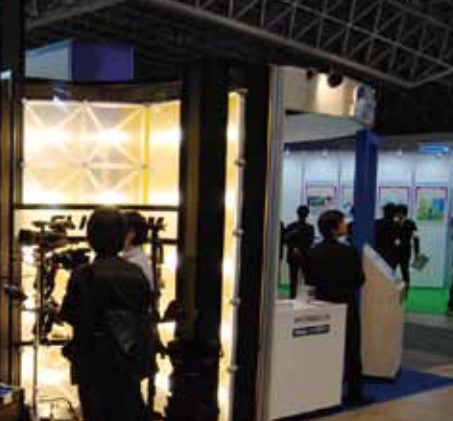
→MILLER三脚とアインレタにも取付可能。取材に応えているのはNKL社の鈴木氏です。



アメリカ「anton bauer」(アントンバウアー)社のバッテリー&チャージャーシステム。今回はリチウムイオンバッテリー「ダイオニックHC」や、DVIバッテリーシステム「EZリリックス」、の他にCINE用の大型バッテリーも登場。



「Glidecam」(グライドカム)スタビライゼーションシステム。InterBEEの5日前にアメリカから届いたばかりの、新製品X-22(今回はスレッドのみ)は、やはり注目!大型シネカメラもすべし!

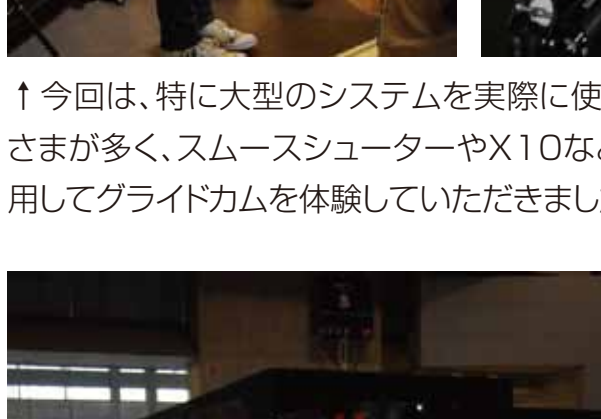


↑今回は、特に大型のシステムを実際に使ってみようというお客さまが多く、スムーズシューターやX10など、サポートベストを着用してグライドカムを体験していただきました!

↑「Glidecam」のローモードキットでローアングル撮影。小坂…。何故かソリソリ?



←ついに女性オペレーター登場! 我が社の新田がGlidecam X-22に初チャレンジ! 社内でも1-2を争う細身で、なんとENGカメラをしっかり操作しています。本人いわく「なんか、見てたらできそうって思ったから♡」と一発でキメました。これにはMr.Glidecam小坂もたじたじ〜。



→最後はダブルグライドカムで記念撮影。お疲れさまでした〜!

